土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

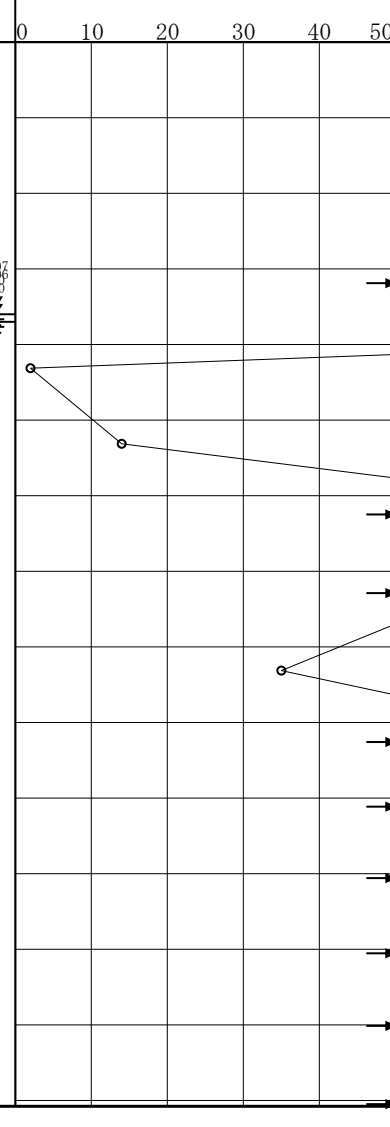
調　査　名　二級河川　三津大川水系　三津大川　災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　二級河川　三津大川水系　三津大川

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.2	**調査位置**	広島県東広島市安芸津町三津			**北緯**	34° 19′ 11.4668″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 8月 4日 ～ 2021年 8月 11日	**東経**	132° 48′ 59.4400″
調査業者名	株式会社セトウチ **電話** 0846-29-1720	**主任技師**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	**現場代理人**	新長　修二 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号
						ボーリング責任者	森下　祐次 地質調査技士 登録番号: 第23888号
孔口標高	T.P. 4.93m	**角度**	180°　上 90° 下 0°　0°	**方位**	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	**地盤勾配**	水平0°　鉛直 90°
総削孔長	14.00m					**使用機種**	**試錐機** YBM YSO-1WA **エンジン** ヤンマーNFD10　**ポンプ** GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	1.23	3.70		埋土		暗灰～灰褐	緩い～中ぐらい			深度0.4m付近まで砕石。深度1.2m付近にt=0.2m程度のCo板。Co板下部は砕石～礫・玉石混り土砂。 Asガラ混入する。 ボーリング地点は、深度2.00mまで空洞(VP管保孔)。 深度2.00m以深～Φ50mm程度までの礫を混じる礫混り土砂。 深度3.20m～3.45m間にコンクリートを挟む。 深度3.70mに木片を挟む。	08/07 08/06 3.70
4 5	-0.57	5.50		礫混り砂		黄褐灰	非常に緩い～中ぐらい			Φ10mm～30mm程度の亜角礫、亜円礫を挟み砂分は中～細粒砂を主とする。 深度3.70m～4.70m間は、全体に緩い。 深度5.00mまで掘削時、全逸水する。	
6 7 8 9 10	-6.07	11.00		玉石混り砂礫		灰褐～黄褐～暗青灰	密～非常に密な			Φ80mm～150mm程度の玉石が80%程度を占める。 玉石間は粗粒砂が埋める。 最大採取コア長L=200mm程度の玉石も存在する。 深度5.00m～7.40mまで逸水なし。以深、全逸水。	
11 12 13 14	-9.07	14.00		砂岩・礫岩		黄褐灰～青灰				深度11.50mまで細粒砂を主とした砂岩。棒状コアで採取される。 深度11.65m以深、コア長L=100mm～300mm程度の棒状～片状コアとなる。 深度12.80m～12.95m間、コア脱落により打ち込みにて採取した為、乱れた状態となる。	



標準貫入試験 深度 (m)	N値	100mごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
3.15 3.20	300	50/50			50/50	50							
4.15 4.45	2	1/200	1		2/300								8/5
5.15 5.45	14	5	4	5	14/300								
6.15 6.32	88	12	38/70		50/170	170							
7.15 7.40	60	18	22	10/50	50/250	250							8/6
8.15 8.45	35	10	12	13	35/300								
9.15 9.34	79	13	37/90		50/190	190							8/7
10.10 10.10		貫入不能			50/0								
11.00 11.09	167	50/90			50/90	90							
12.00 12.08	188	50/80			50/80	80							8/10
13.00 13.00		貫入不能			50/0								
14.00 14.07	214	50/70			50/70	70							8/11